

## 原水爆禁止 2019 年世界大会へのメッセージ

核兵器のない平和で公正な世界を実現するため、精力的に活動される皆様に心から敬意を表します。

我が国は世界で唯一の被爆国であり、広島・長崎の悲劇を二度と繰り返さないという固い決意のもと、核兵器の廃絶と戦争の悲惨さを力強く訴え続けなければなりません。

来年には核拡散防止条約（NPT）再検討会議が50年の節目を迎え、今年の5月には、その会議に向けた準備委員会が開催されましたが、核軍縮を巡る文言を巡り、米国などの核保有国と、核兵器の全廃を目指す非核保有国が対立し、核軍縮へは暗雲が漂っております。今日、核保有国の原水爆所有数量は、第二次世界大戦における総爆発量の数万倍といわれており、核戦争は一瞬のうちに全人類の生存と、その文明を破滅させるものとなっています。

核兵器廃絶をめぐる世界情勢が厳しい中、被爆国の重要な役目として、改めて平和憲法の重要性を認識し、核兵器のない世界と恒久平和の実現を国際社会へ働きかけてまいらなければならないものと思慮いたす次第でございます。

将来を担う子どもたちが安心して暮らせるよう、また核兵器の恐ろしさと平和の尊さを伝え続けられるよう、当町におきましても、「日本非核宣言自治体」及び「平和首長会議」への加盟を通じて、微力ではございますが、平和思想の普及に努めてまいります。

最後になりますが、この原水爆禁止 2019 年世界大会のご成功と、ご参加の皆様のご健勝祈念しまして、メッセージといたします。

令和元年 7 月 3 日

神奈川県湯河原町長

富田幸宏